

2001-3

平成13年度第3回

一次試験・筆記解答・解説

p.122~133

一次試験・リスニング解答・解説

p.134~145

二次試験・面接解答・解説

p.146~149

解答一覧

一次試験・筆記

1

(1)-2	(2)-4	(3)-1
(4)-2	(5)-4	(6)-3
(7)-3	(8)-1	(9)-1
(10)-2	(11)-4	(12)-3
(13)-3	(14)-4	(15)-4
(16)-1	(17)-2	(18)-4
(19)-3	(20)-2	(21)-2
(22)-4	(23)-3	(24)-1
(25)-1		

2

(26)-1-2	(27)-4-3	(28)-1-2
(29)-1-5	(30)-1-4	

3A

(31)-2	(32)-1	(33)-3
(34)-4	(35)-3	

3B

(36)-4	(37)-3	(38)-2
(39)-2	(40)-4	

4A

(41)-2	(42)-1	(43)-2
(44)-3	(45)-4	

4B

(46)-4	(47)-1	(48)-2
(49)-3	(50)-2	

一次試験・リスニング

第1部

No.1-4	No.2-3	No.3-2
No.4-1	No.5-4	No.6-1
No.7-4	No.8-2	No.9-2
No.10-1		

第2部

No.11-3	No.12-4	No.13-2
No.14-2	No.15-3	No.16-3
No.17-1	No.18-1	No.19-3
No.20-2		

- 1 解答** ②
- 訳 ——— ほとんどの人たちは、ビルが彼の父親のように医者になるだろうと思っていたが、彼はその代わりに弁護士になった。
- 解説 ——— **assume that** ~ 「～だと思いこむ」。他の選択肢は **that** 節を取らないし、文意に合わない。**inform** 「(人)に知らせる」、**respect** 「尊敬する」、**confuse** 「困惑させる」 **lawyer** [lɔɪər] 「弁護士、法律家」
- 2 解答** ④
- 訳 ——— アンはモデルを始めた頃はただの子供だった。両親はモデルになることには反対だったが、それは彼女の夢だった。
- 解説 ——— **merely=only** は「a + 名詞」の前で用いて「たかが～にすぎない」。**curiously** 「不思議なくらい」、**extremely** 「極端に」、**eagerly** 「熱望して」
- 3 解答** ①
- 訳 ——— エイミーとステファンがニューヨークで再会したのは本当に偶然の一致だった。彼女は出張の途中で、彼は単なる観光中だった。
- 解説 ——— 異なる目的の途中で偶然に出会ったのだから **coincidence** 「偶然の一致」が適当。**It** は形式主語で **that** 節が真主語。**ignorance** 「無知」、**indifference** 「無関心」、**consequence** 「結果」
- 4 解答** ②
- 訳 ——— その日の日課が終わったら全ての教室の窓を閉めるのが教師の責務であった。
- 解説 ——— **It** は形式主語で **to** 以下が真主語。窓を閉めることは教師の勤めと推定できる。**responsibility** 「責務」。**demonstration** 「証明」、**involvement** 「かかわりあい」、**possession** 「所有」
- 5 解答** ④
- 訳 ——— 選挙で二人の有力な立候補者がいるので、その結果がとても興味深い。
- 解説 ——— **in the election** から選挙であることがわかり、選択肢が限定される。**commuter** 「通勤者」、**correspondent** 「通信員」、**witness** 「証人」
- 6 解答** ③
- 訳 ——— この部屋の全員がこの議論に参加することを求められている。
- 解説 ——— **in** に着目。**participate in** ~ = **take part in** ~ 「～に参加する」。**express** 「表現する」、**arrange** 「調整する」、**fulfill** 「実行[実現]する」
- 7 解答** ③
- 訳 ——— もし我々が顧客調査のデータを注意深く分析すると、きっと新製品のなにかしらの考えが我々に浮かぶと思う。
- 解説 ——— 目的語の **the data** から **analyze** 「分析」が適切と判断できる。

establish「確立する」, determine「決定する」, exclude「除外する」

8 解答 ①

訳 — アメリカの大学の中には相当歴史のある大学がある。例えば、ハーバード大学はおよそ350年前に創立された。

解説 — found を find の過去形と間違わないように。found「設立する」。settle「定住する」, ground「(理論などを) 確立する」, raise「掲げる」 around 350 years ago = about 350 years ago

9 解答 ①

訳 — 子どもが突然道路に飛び出したとき、ティムはなんとか急ブレーキをかけた。

解説 — 不意に子どもが飛び出てきたので、急に止まったのだから, offensive「いやな」にはならない。abrupt「突然の」。artificial「人工的な」, enormous「莫大な」。in time「間に合って」

10 解答 ②

訳 — A: この写真を2倍の大きさに引き伸ばすのにいくらがかかりますか。
B: 1枚につき2ドルです。

解説 — How much does it cost to ~? 「～するのにいくら費用がかかるのか」。写真を引き伸ばすのだから enlarge「大きくする」。add「足す」, retreat「後退させる」, expose「さらす」

11 解答 ④

訳 — 大学生の睡眠に関する研究の結果から、学生たちはしばしば午後にうたた寝をしていることがわかった。

解説 — take a nap「うたた寝をする」。他は目的語に a nap を取らない。The results から habits まだが主部。... show that ~ 「...で～がわかる」。

12 解答 ③

訳 — 最近、一番下の弟は手に負えなくなっている。両親は彼が言うことを聞かないから、これ以上どうしろと言えなくなっている。

解説 — 両親が弟に手を焼いているのだから, out of control「抑えきれない」。pressure「圧力」, target「標的」, increase「増加」

13 解答 ③

訳 — テッドはすぐに友人たちが自分のために不意打ちパーティーを計画していることがわかった。なぜなら自分が誕生日についてほのめかした際、彼らは妙な反応をしたから。

解説 — figure out = understand「わかる」。妙な感じがしたので、彼はそれとなくわかった。acted strange = acted in a strange way

14 解答 ④

訳 — A: ここにある靴、気に入ったわ。でも本当に値段が高いわね。

B: その通りだけど、長い目で見れば長持ちするから安いくらいよ。

解説 — in the long run = eventually, in the end 「結局は」という意味のイディオム。靴の寿命のことを言っているので、他は文意に合わない。この last は自動詞で「長持ちする、耐える」の意味。

15 解答 ④

訳 — 東京ではすぐに道に迷ってしまう。あまりに大きいし、ほとんど道路標識がないから。

解説 — because 以下から道に迷うことがわかる。get lost = lose one's way 「道に迷う」。take care 「気をつける」、throw away = discard 「捨てる」、go through 「通過する」。street signs 「交通標識」

16 解答 ①

訳 — 私は、今日はシェークスピアの戯曲については論じません。明日、詳細にその話題を説明します。

解説 — イディオムの問題。go into 「説明する」。hand in 「提出する」、turn on 「(明かり・テレビを) つける」。in detail は「詳細に」

17 解答 ②

訳 — その地域に工場を建設しようとするその会社の計画は、地域社会の多くの反対を引き起こすだろう。

解説 — 地域の反対が起こると判断できる。give rise to 「(悪いことを) 引き起こす」 (= cause)。take part in 「参加する」、fight fire with (fire) 「相手と同じ手口で反抗する」、find fault with 「口に出して非難する、文句を言う」

18 解答 ④

訳 — A: 私は数か月全く運動をしていないわ。だから体調が良くないの。

B: あら、本当? とても元気そうに見えるわよ。

解説 — 空所は B の発言中の fit と反対の意味だとわかる。fit は体の調子の良いことなので、反対の out of shape 「(体が) 不調で」を選ぶ。style 「流行」、figure 「形」、state 「状態」

19 解答 ③

訳 — マーガレットは昨日の試験はあまり出来が良くなかった。彼女は今からもっと一生懸命に勉強しようと心に決めた。

解説 — イディオムの問題。勉強しようと心に決めたのは、from now on 「今から」とするのが適切。do well 「(事が) うまくいく」。

20 解答 ②

訳 — サイモンの両親は予想に反して彼が大学入試で不合格になった時、いたく落胆していた。

解説 — この contrary は「～に反して」の意味の副詞。contrary to one's expectation 「～の予想に反して」。be equal to ～ 「～と等しい」、facing to ～ 「～に向いて」、unique to ～ 「～に特有な」

21 解答

②

訳 — 父と私は疲れすぎないように東京から盛岡までの長旅を交代で運転した。

解説 — so that ... wouldn't ~ 「…が～しないように」という構文。take turns (at, in) driving で「交代して運転する」。

22 解答

④

訳 — 私はネルソン家の人たちに先週娘が滞在した際、彼女をもてなしてくれた親切に対してお礼を述べた。

解説 — treat ... with ~ 「～でもって...を扱う」。例：treat a new car with care 「新車を大事に扱う」。「前置詞＋関係代名詞」の問題。I thanked the Nelsons for the kindness. They treated my daughter with it. と2文に分解して考えてみよう。この it の代わりに which を用いて1文にしたのが問題文。

23 解答

③

訳 — 君の英語は毎日練習しなければ上達しないでしょう。テープを聞いたり、英字新聞を読んだりしてみなさい。

解説 — unless = if ... not の意。ここでは、if you don't practice every day 「もし毎日練習しなければ」と同じ意味になる。instead 「代わりに」、therefore 「それゆえに、従って」

24 解答

①

訳 — 私はかつてキノコを食べて具合が悪くなった。それ以来、キノコを一度も口にしていない。

解説 — 現在完了と共に用いられている。過去のある時から今に至るまでのことだから、副詞の since 「それ以来」を選択する。他は不適切。

25 解答

①

訳 — A：もしあなたが私に連絡したい場合に備えて、あなたに私の電話番号を渡します。

B：どうもありがとう。

解説 — 接続詞 in case が主節の後に置かれる場合、「～だといけなから、万一～の場合には」という意味になる。通例、in case の後は現在形を用いる。

全訳

製薬会社は大衆に製品を導入する前に動物に対して新薬や化粧品を試すことがある。ところが、多くの人々はこれらの実験の影響を心配している。動物によっては傷つき、あるいはそれが原因で死に至ることから、そのような実験がとても残酷であると言われている。美容や健康を売り物にしている会社の中にはこれ以上動物実験を行わない会社もある。そして、それらの会社はこのことを人々に知らしめるためによく製品にラベル表示を行っている。

26 解答 ① ②

正しい語順 — are concerned about the effects of these experiments

解説 — many people に続く動詞を考えなくてはならない。be concerned about ~「～に関心がある、～を心配している」が主語を受けている。

27 解答 ④ ③

正しい語順 — put labels on their products to show people this

解説 — S・V・O の文型。主語 companies (複数) を受ける述語動詞を考えると put しかない。put A on B「A を B の上に貼る」。ここから製品の上にラベルを貼ることがわかる。後半部分の to show は「目的」を表す不定詞の副詞用法。this は本文中の fact につながる。

全訳

今日、多くの人々はインターネットを使うことを享受している。彼らはそれでEメールを送ったり、様々な種類の情報を探すために利用できる。インターネットは1983年にアメリカ合衆国政府によって生み出された。最初、それは重要な情報を交換するために政府によって使われただけだった。後に、大学や研究機関もインターネットを使い始めた。今日、コンピュータを持つ、いかなる人も容易にインターネットにアクセスすることができる。

28 解答 ① ②

正しい語順 — the government to exchange important pieces of information

解説 — 受け身の文の by の後には行為者がくる。よって the government (政府) が決まる。不定詞 to exchange 以下は「目的」を表している。exchange の目的語を考えると information (情報) がふさわしい。information は不可算名詞なので pieces of information となる。important は名詞 pieces を修飾する。

全訳

たいていの人はスペインの公用語はスペイン語だということは知っている。しかし、スペインでは他の言語もまた話されている。例えば、バルセロナ周辺で暮らす人々は、しばしばカタロニア語を話している。この言語とスペイン語はとても近い関係にあるが、多くの語いや発音はまったくスペイン語のそれとは異なっている。このため、スペイン語しか話せない人たちにとってカタロニア語を理解することは、しばしば難しいのである。

29 ① ⑤

正しい語順 — there are also other languages that are spoken

解説 — There is ... の構文であることを見抜く。other の後は複数名詞がくるので、languages でなければいけない。更に、languages that の that が関係詞であることに気づけば、are spoken の語順でつながる。

30 ① ④

正しい語順 — often difficult for people who only speak Spanish

解説 — it is ... for A to ~ という構文。for 以下は不定詞（真主語）の意味上の主語であるから、people が入る。これに関係詞節 who ~ がつながる。この関係詞は主格なので、speak Spanish とつながる。

一次試験・筆記

3

問題編 p.110~111

[A]

全訳 グリーン・カー

何千年もの間、人々はものを作るために草や他の植物を利用してきた。ところが、最近、植物を基にした素材が驚くような新しい方法で利用されている。最も重要で新しい用いられ方の1つが車の製造分野に見られる。

植物から作られている素材は多くの利点を持っている。たぶん、最も大きな利点は素材の生物分解性にある。現在、アメリカでは1千万台以上の車が毎年廃棄されている。これらの車に使われている素材の多くは再生利用されている。ところが、ガラス、プラスチック、あるいはゴムのような部品は土の中に埋められている。このことは環境にとって有害になりかねない。

それとは対照的に、植物を基に作られた素材が埋められた時、それらは最終的には昆虫や他の小さな生物によって、ちょうど他の植物のように食べられてしまう。それらはただ単に再び土の一部になるのである。ドイツや英国のような国々では、政府が車メーカーに古くなった車の部品を土に埋めるのにかかった費用に対して税を課している。しかし、生物分解性素材の場合には、税金が課せられていないので、それらが急速に普及してきている。あるドイツの車メーカーは、ここ5年で植物からなる素材の利用を3倍に伸ばした。

これらの新素材は他の利点も持ち合わせている。それらはガラスやゴムといったような素材より安く作れるのである。それらはまた軽量で、車の燃費を向上させることにもなる。次の段階は車の車体のために、植物を基にした素材を利用する方法を見つけることだろう。多くの国の科学者たちは、現在の車の車体にとって替われるだけの強度を備えた生物分解性素材の開発のため、今一生懸命研究を重ねている。環境に対する関心が高まるにつれて、間違いなく、車を作る草や他の植物の利用もまた盛んになるだろう。

- 31 解答** ②
 解説 —— 後続の文章でガラスなどの部品は土に埋められているとなっているので、他の部品は再利用されると考える。be recycled「再生利用される」
- 32 解答** ①
 解説 —— ガラスやプラスチックなどが土に埋めても消えないままで環境に有害であるのに対して、植物を基にした素材は昆虫などに食べられ土に返っており、両方の素材が対比されている。よって By contrast「対照的に」となる。In contrast とも言う。As a result「結果として」、Likewise「同様に」、Moreover「更に」
- 33 解答** ③
 解説 —— in the case of ～「～の場合」。生物分解性素材には税金が課せられないので、その素材が普及したと考える。become popular「広まる」、serious「深刻な」、dangerous「危険な」、rapid「急速な」
- 34 解答** ④
 解説 —— 新素材は他にも有利な点があるのだから、have advantages「有利である」を選ぶ。take advantage of ～「～を利用する」と混同しないように。interest「利子」、expense「費用」、trend「傾向」
- 35 解答** ③
 解説 —— 接続詞 As は「～につれて」という意味。concern for the environment「環境への関心」が主部、grows「大きくなる」が述語動詞。

[B]

全訳 現代の本の誕生

何千年もの間、人間はペンや筆のようなものを使って言葉を書き留めてきた。しかし、現代の印刷方法が発明されたのは、ほんのおよそ500年前であった。この方法は更にもっと前にあった技術の数々を寄せ集めたのだ。例えば、1041年という昔に、中国人は印刷するために粘土で作られた活字を使っていた。ところが、この印刷技術はさほど当時は影響を及ぼさなかった。おそらく、その主な理由は、書き言葉で使われる文字があまりにも多かったので、印刷のために活字を作りそして使うことは困難であり、また時間の浪費にもなっていたからだった。

対照的にヨーロッパでは、15世紀のはじめまでは、本は人の手によって写されていた。これには時間がかかり、ほんの僅かしか出来上がらなかった。教育への需要、そして多くの本への需要によって、多くの様々な人々がより安く本を作るための方法を探し求めていることがわかる。おそらく、これを成功させた最初の人物は1450年代に本の印刷を始めたドイツの職人、ヨハネス・グーテンベルグであった。たぶん、グーテンベルグが成しえた最も重要な貢献は、アルファベットの金属製の活字を安く作る方法を開発したことである。彼の新しい方法は急速に他のヨーロッパ諸国に広まり、そして、現代の印刷技術の歴史の幕を開けたのだった。

これらの初期の本は当時の人々にとってはなおかなり高価であったけれども、それらは手書きした本に比べ、はるかに安価であった。それらは、また、ずっと正確でもあった。この時期から始まった印刷された本の急速な広がり、は、科学、歴史、そして文学を含めあらゆるヨーロッパ文化に計り知れない影響を及ぼした。実際、印刷本なしの現代を想像することは不可能である。

36 問題 ④

解説 — However があるので、影響があまりなかったと考える。文意から impact 「衝撃、影響」だとわかる。at the time 「当時」

37 問題 ③

解説 — 後ろに in があるので、succeed in ~ ing 「~するのに成功を収める」

38 問題 ②

解説 — the most important contribution that Gutenberg made 「グーテンベルグが行った最大の功績」という意味で、ここまでの主部を形成している関係詞節である。make a contribution to ~ 「~に貢献する」

39 問題 ②

解説 — they were much cheaper ... とは内容が逆接的なので、Although 「~だけれども」が正解。

40 問題 ④

解説 — it is ... to ~ という形式主語 it の構文。印刷技術を持たない現代の世界は想像がつかないのだから、impossible 「不可能な」が正解。

一次試験・筆記

4

問題編 p.112~115

[A]

全訳 大陸移動説

新しい科学的理論が広く受け入れられるには長い時間がかかる。時には、ある理論の真実性が、それを提案した科学者が亡くなったかなり後になるまで、認められないことがよくある。1つの例を挙げると、アルフレッド・ウェゲナーによって最初に提案された大陸移動説である。これは、今日の大陸は全て元々一緒に繋がっていたという説である。

ドイツ人地質学者であったウェゲナーは、世界の大陸に関する科学論文を1911年に読み終えた後、彼の理論を展開し始めた。彼が読んだいくつかの論文の中には、大西洋の両端で類似した動植物の化石の発見があったことが述べられていた。彼はこの論題に興味を持ち、他の類似点を探しているとき、アフリカと南アメリカの海岸線がうまく一致しているように見えるのに気づいた。更なる研究の後、彼は約2億5千万年前は全ての大陸が繋がっていて、後に徐々に分離したと結論付けた。彼はこの元からあった巨大な大陸をパンゲアと呼んだ。その名は「全地球」を意味するギリシア語に由来している。

1915年、ウェゲナーは自分の理論を『大陸と海洋の起源』という本の中で紹介した。

不幸にも、彼の本は科学者の間では評価を受けなかった。当時、ほとんどの地質学者は大陸は陸続きの橋によって繋がりを、これらの橋状の土地は徐々に海に沈んだと信じていた。大陸は分離していったというウェゲナーの考えはありえそうもないと思われた。それで、ほとんどの地質学者はいとも簡単にこれを無視した。結果として、ウェゲナーはドイツの大学では全く仕事にありつかなかった。

1930年のグリーンランドへの調査旅行中にウェゲナーが亡くなるまで、ほとんどの地質学者は完全に彼の理論を否認していた。ところが、1950年代になって、ついにこの考えを真剣に受け止め始めた。新しい科学研究によって、大陸と海面下の陸地の両方が地球内部の熱くて液状の岩の上に浮かんでいることが明らかになった。それらはおよそ1年につき2cmの割合で動いていて、この移動によって火山活動や地震を引き起こしている。この発見によって、大陸間がかつて一緒に繋がっていて、それから徐々に離れて移動していったというウェゲナーの考えが確認された。

41 解答 ②

質問の訳 —— アルフレッド・ウェゲナーは

選択肢の訳 —— 1 ドイツの地質学者に関しての科学論文を読んだ。

2 現在広く受け入れられている理論を提唱した。

3 大陸の移動に関しての理論を否定した。

4 動植物の化石に関しての科学論文を書いた。

解説 —— 1 に関しては、彼が読んだものは大陸に関しての科学論文である。3は、拒絶したのは、他大勢の地質学者である。4は書いたのではなく読んだのである。第1段落と第4段落で判断がつく。

42 解答 ①

質問の訳 —— どのようにしてウェゲナーは自分の理論を思いついたのか。

選択肢の訳 —— 1 彼は2大陸間の海岸線の類似性に注目した。

2 彼は大西洋の動物と植物の間の類似性を観察した。

3 彼はパンゲアという巨大な大陸に関しての新しい情報を見つけた。

4 彼はアフリカと南アメリカを旅行中、化石を発見した。

解説 —— 第2段落の第3文に正解がある。1は while he was looking for other similarities, he noticed that ... と本文にある。

43 解答 ②

質問の訳 —— ウェゲナーの理論によると、

選択肢の訳 —— 1 陸続きの橋は海の底に沈んだ。

2 長い年月を経て大陸は互いにゆっくりと離れて移動してきた。

3 大陸は全て陸続きの橋によって一緒に繋がっている。

4 地球は2億5千万年後に1つの巨大な大陸になるだろう。

解説 —— 第2段落第4文, he concluded that ... に正解がある。本文では、move apart「離れる」と同じ意味の be separated が使われている。1と3は当時の他の地質学者の考え。4は未来のことには言及していない。

44 解答..... ③

- 質問の訳 — 1950年代に科学者たちは何に気づいたか。
- 選択肢の訳 — 1 海の下にある陸地はもはや移動していない。
 2 火山活動は大陸移動の原因である。
 3 大陸と海の下にある陸地は移動している。
 4 液状の岩の海は地球内部に存在しない。

解説 — 新しい研究によって、ウエゲナーの考えが真実であることが判明した。
 1は述べられていない。2は原因ではなく移動のために生じている結果である。4は存在している。

45 解答..... ④

- 質問の訳 — 以下に述べられているものの中で正しいものはどれか。
- 選択肢の訳 — 1 地質学者たちはついにパンゲアが存在していなかったと結論付けた。
 2 地質学者たちはウエゲナーの理論を証明するためにグリーンランドの調査を実施した。
 3 ほとんどの地質学者たちは彼が亡くなるまでにウエゲナーの理論を信じていた。
 4 ほとんどの地質学者たちはウエゲナーの考えが最初提示された時、それはありえないと思った。

解説 — 1は最終的には他の地質学者がウエゲナーの考えを認めたのだから、間違いである。2で、調査したのはウエゲナーである。3は、ウエゲナーが亡くなったのは1930年で、彼の考えは1950年代にようやく受け入れられ始めた。

[B]**全訳 100万ドルの数学**

最近あるユニークなコンテストがマサチューセッツ州ケンブリッジにある非営利団体クレイ数学研究所(CMI)から発表された。この研究所の主な目的は数学的な知識の普及を奨励することにある。その活動の一部として、CMIは「ミレニアム賞の問題」を公表した。それぞれの問題に対して、このコンテストは最初の正解者に100万ドルを提供するというものだ。全部で7つの問題がある。

このコンテストの考えは実のところデイビッド・ヒルバートという名の有名な数学者の業績に由来したものだ。1900年、ヒルバートは数学研究の将来の方向を導くのに役立つであろうと願った23の数学の問題のリストを提案した。その時以来、これらの問題中12間は様々の数学者たちによって解かれてきた。CMIコンテストの問題の1つである、いわゆるリーマン仮説は実際、最初のヒルバートのリストにあった未解決の問題である。事実、この新しいコンテストのすべての問題は、数学の中心的原理に関わる有名なものばかりである。

このコンテストで一位になることは間違いなく時間がかかるであろうし、簡単ではないだろう。このコンテストのために選ばれた問題は、長年に渡って世界の最も優秀な数学者たちの頭を悩ませ、挑んできた問題の数々である。どうにか答えを出すまでたどり着けた数学者でさえ、百万ドル長者になるには相当長い時間を待たなければならないだろう。まず、その答えは主要な数学論文紀要に発表されなければならない。それから、その解答を出した数学者は他の数学者たちによってその答えが検証されるまでの間、2年間待機しなければならない。最終的にはCMIによって選ばれた数学の専門家から成る特別委員会が、その賞金を授与されるべき人を決定するために、全ての解答を検証しなければならない。

驚くまでもないが、そのコンテストで授与される金額の合計に、一般の人の目はほとんど向けられてきた。しかし、実際のコンテストの重要性はお金ではなく、新しい研究をいかに奨励するかである。コンテストの問題の集大成は数学界のエベレストと言われてきた。その問題の数々が未解決のままであっても、それらを解こうと試みる努力は、間違いなく数学的な知識を前進させることになるだろう。

46 問題 ④

質問の訳 —— デイビッド・ヒルバートは

- 選択肢の訳 ——
- 1 毎年数学のコンテストを実施するためにCMIを設立した。
 - 2 数学コンテストのためにCMIに百万ドルを寄付した。
 - 3 7つの有名な数学の問題を解いて、コンテストで優勝した。
 - 4 100年以上前に23の数学問題のリストをあげた。

解説 —— 第2段落第2文にある。1900年に彼はリストを提案したので、100年以上前になる。1はCMIの設立目的は数学の普及のためである。establish「設立する」。2は彼が100万ドルを寄付したのではない。第1段落に協会が提供したと出ている。

47 解答 ①

質問の訳 —— CMIのコンテストの問題は

- 選択肢の訳 ——
- 1 何年にも渡って一流の数学者たちに挑戦を投げかけてきた。
 - 2 主要な数学の紀要論文で発表されることになっている。
 - 3 数学の中心原理と関係はない。
 - 4 1900年デイビッド・ヒルバートによって全て選ばれた。

解説 —— 正解は第3段落第2文にある。puzzle「悩ませる」。2は、紀要論文で発表されるのは問題ではなく解答。3は逆におおいに関係している。be concerned with「関係がある」

48 解答 ②

質問の訳 —— この賞金は

- 選択肢の訳 ——
- 1 全ての7つの問題を解いた最初の数学者に対して与えられることになる。
 - 2 特別委員会が解答を検証した後やっと与えられることになる。

3 CMIの数学者グループの中で分配されることになる。

4 かの著名な数学者デイビッド・ヒルバートに贈られることになる。

解説 —— 第3段落最終文に正解がある。special ... the CMI が will examine の主部。chosen は experts を後ろから修飾している。who should ... money の節が determine の目的語になっている。1 に関して、全ての7つの問題を解くとは述べられていない。

49 ③

質問の訳 —— ミレニアム賞の問題の主な目的は何か。

選択肢の訳 —— 1 数学的知識を促進するために基金を設けること。

2 CMIで働く優秀な数学者を発掘すること。

3 将来の新しい数学研究を奨励すること。

4 歴史上有名な数学者の業績を称えること。

解説 —— 第4段落第2文で、賞の意義はお金にあるのではなく、将来の新たな数学研究の奨励にあると書かれている。However ... に着目する。

50 ②

質問の訳 —— 以下に述べられているものの中で正しいものはどれか。

選択肢の訳 —— 1 CMIはコンテストの問題を解くために設立された非営利団体である。

2 デイビッド・ヒルバートによって提案された問題の半分以上が解かれた。

3 リーマン仮説は1900年代の初めに解かれた。

4 大衆の目はコンテストから出た新しい研究に注がれた。

解説 —— ヒルバートのリストにある23の問題中、12問が解かれているので、2が正解。1は、問題を解くためではない。3は、いまだ未解決な問題として残っている。4は逆で、コンテストの金額に注目が集まっている。